

部会で出された主なご意見と当日の回答（令和7年度第1回）

⑤

番号	意見	当日の回答	担当課
こども青少年部会			
1	・港区におけるヤングケアラーの現状はどうか？ （把握できている人数、小学生もいるのか、男女の比率、事例など。）	・個人情報に関することなのでお話できることに限りがあるが、港区として把握している人数は10～15人の間、小学生もいる。男女はどちらかに偏っているということはない。 ・事例としては、例えば保護者が外国につながりある方で子どもが通訳に駆り出されるケース、幼いきょうだいの世話をするために学校を休ませるケースなどがある。	保健福祉課 （保健・子育て支援）
2	・ヤングケアラーはどのように把握されているのか？	・「こどもサポートネット事業」として、区役所と各学校間において、福祉的課題のある児童生徒のスクリーニング会議を行っており、そこで得た情報をもとに、スクールソーシャルワーカーが把握するケースがある。 ・また、児童虐待等への対応を行う「要保護児童対策地域協議会」において、ヤングケアラーにも該当することが判明するケースや、生活保護のケースワーカーからの報告により判明するケース等もある。	保健福祉課 （保健・子育て支援）
3	・ヤングケアラーへの支援は、どのようなことをしているのか？	・ヤングケアラーへの支援は個々の状況によって様々であるが、先ほど申し上げた外国につながりのある保護者の通訳の事例であれば、大阪市では通訳派遣事業があり、また、幼いきょうだいの世話を学校を休む事例であれば、ヘルパー派遣事業を検討する等が支援の例としてある。	保健福祉課 （保健・子育て支援）
4	・こどもサポートネットのスクリーニングの説明を聞いて、教職員への負担を改めて認識した。 ・教職員や地域の大人が気づくことも一つの手手段だが、例えば、介護でサポートが必要な方や、依存症等の治療を受けている方などの世帯で、児童がヤングケアラーに該当しないか、こうした医療機関や介護関係など、公的なところからアプローチすればどうか。	・ご指摘のとおり、医療機関や介護関係におけるヤングケアラーの認知度向上は重要と考えている。 ・そのため、「港区在宅医療介護連携推進事業」という事業において、医療・介護・福祉専門職を対象とした講演会や事例検討会等を行い、ヤングケアラーの認知度向上を進めているところである。 ・ケアマネジャーや訪問看護事業者をはじめ、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センターなど、直接家庭を訪問して気づくことができる機関との連携は非常に重要であると考えているため、今後も連携を図ってまいりたい。	保健福祉課 （保健・子育て支援）
福祉部会			
1	令和6年度の施策・事業の評価について、アウトカム指標が未達成とのことであるが、そもそも設定に無理があったのか？それとも取り組む内容がダメだったのか？	経営課題3については、アウトカム指標と前年度実績及び今年度実績の数値に大きな乖離がないことから、設定に無理があったとは考えていない。 経営課題4については、アウトカム指標の数値が前年度実績から大きく下がってしまっており、物価高などで「子育てしやすい」と思ってもらえなかったことも要因であると考えている。	保健福祉課(福祉) 保健福祉課(子育て支援)

部会で出された主なご意見と当日の回答（令和7年度第1回）

⑤

番号	意見	当日の回答	担当課
福祉部会			
2	介護予防ポイント事業に応募してくる方はどのような経路で、この事業をどこで知って登録するのか？	（西川委員（港区社会福祉協議会）が回答） 介護予防ポイント事業は、65歳以上の高齢者の外出機会の増加と社会参加を図ること で、介護予防につなげる事業である。 介護予防ポイント事業の施設活動コースについては、大阪市社会福祉協議会が大阪市 から業務を受託し、ホームページやチラシを作成するなどし、関係機関に配架してもらい 周知している。在宅活動コースは港区社会福祉協議会で実施している。	保健福祉課(福祉)
3	介護予防ポイント事業の在宅活動コースは、港区社会福祉協議会で実施してい るとのことで、利用する場合は、「担当のケアマネージャーにご相談ください」と書 かれているが、ケアマネージャーはこの事業を知っているのか。	（西川委員（港区社会福祉協議会）が回答） ケアマネージャーには、ケアマネポート（ケアマネージャーが集まる会議）で周知してい る。利用者が固定化してしまっており、広く周知が必要。	保健福祉課(福祉)
4	介護予防ポイント事業は介護保険のサービスの一つか？	（西川委員（港区社会福祉協議会）が回答） 介護保険のサービスではない。ただし、財源は介護保険料である。在宅活動コースであ れば、1回あたり利用者からの利用料100円と介護予防ポイントの600円分が介護保 険の財源のひとつから賄われ、活動した人に支払われる。	保健福祉課(福祉)
5	すかいプロジェクト「難聴高齢者補聴器購入助成事業」について、特定検診など の検診では、難聴の検査が行われていない。聞こえにくくなり日常生活に支障が 出てくるとコミュニケーション能力も低下し、認知症のリスクが上がる。特に後期高 齢者の特定検診で聴力検査を行い早期に発見出来る仕組みを作るべきである。 意見として述べておく。	（ご意見のみで回答なし）	保健福祉課(福祉)
6	虐待に気づいた場合、通報はどこに言えばよいのか？	法的には、高齢者であれば地域包括支援センター、障がい者であれば、障がい者基幹 相談支援センターが通報の受理機関となっている。本日お示した資料に記載している 相談機関であれば、どこに通報していただいても、区役所に繋がる仕組みができています。	保健福祉課(福祉)

部会で出された主なご意見と当日の回答（令和7年度第1回）

⑤

番号	意見	当日の回答	担当課
安心安全・まちづくり部会			
1	【大阪・関西万博開催による交通状況について】 ・開催前はOsaka Metro中央線が非常に混むのではと不安があったが、始まってみるとスムーズに流れている。電車本数が増え、駅も綺麗になって、誘導員が多く配置されてうまく調整されている。弁天町は良い方向に変わってきている。 ・道路においては、事前に混むことを想定して、時間をずらすなどの対策もされているので大変だということは聞いていないが、夏休み以降がどうなるか心配。 ・万博開催以降、交通車両が多くなった。特に通勤ラッシュ時において、観光バスや工事車両などが増え、かなりの列になっている。東側に向けては43号線交差点が混んでおり、そこを抜ければ西区はスムーズに進んでいる。 ・港区内のコインパーキングなどが常に満車になっている。区内に駐車して万博会場へ電車で行く人が多いのではないかな。	(ご意見のみで回答なし)	-
2	【運営方針について】 ・アウトカム指標が全て未達成とのことだが、取組は色々とされていると思う。具体的にどのような取組をしていて、どういう点でつまづいて困っているのか、具体的な数字等書いて頂ければ、良い議論ができると思う。 ・マイナスの評価となっても、目標に向かって着実に進んでいると思う。 ・アウトカム指標は定量評価。定性評価も別軸として設定されたいかがか。	運営方針について、細かく見て頂いて感謝している。運営方針は、全ての局区で統一した様式で策定している。数年前までは、取組等も細かく記載する様式となっていたが、あまりに細かく見づらいとの声もあり、簡素化された経緯がある。しかしながら、確かにこれでは具体的な取組内容などが分からないので、港区では独自に各経営課題において、具体的にこういった取組をするのかをホームページに公開している。全体会においては、その資料も配付したい。	総務課（総合政策）
3	【防災について】 ・昨年度の本部会において、「他地域での防災訓練や防災学習会に参加することができれば、もっと参加しやすくなるのではないかな」という意見があったが、先日、他地域の防災学習会に参加させていただいた。他の地域でも参加したということを知っており、ちょっとした工夫で防災意識を高めたり、目に見えないかもしれないが、少しずつでも変わってくれば良いと思う。	(ご意見のみで回答なし)	-
4	【防犯について】 ・区内の街頭犯罪発生件数が増加している件について、盗難が増えていると聞いたが、なぜなのか分析されているか。 ・安まちメールに登録していると、犯罪発生内容の傾向が分かって非常に良い。防犯カメラが最近増えている。ダミーでも防犯に効果があるのではと期待している。設置について助成金があればよい。色んなところに設置してもらいたい。	詳細なデータは本日持ち合わせていないが、自転車盗が増加しており、無施錠によるものが多数である。なぜ前年度から増加しているのか具体的な原因は不明である。二重ロックの啓発活動や見回りを強化して対応している。防犯カメラについては、犯罪発生の抑止力として非常に有効であるし、犯罪者の検挙にも非常に役立っている。	港警察署回答

部会で出された主なご意見と当日の回答（令和7年度第1回）

⑤

番号	意見	当日の回答	担当課
安心安全・まちづくり部会			
5	【港区エリア別活性化プランについて】 ・港区エリア別活性化プランにおいては、港区内の3エリアそれぞれの現状分析や活性化に向けた方針等が定められているが、区を越えて、住之江区や此花区など南北につながるベイエリア一体の連携等について、定めている計画等はあるか。	大阪府・大阪市（・堺市〔発言もれ部分の補記〕）で策定している「大阪のまちづくりグランドデザイン」において、夢洲・咲洲を始めとしたベイエリア一帯の計画を位置づけている。	協働まちづくり推進課（エリア開発推進）
6	【空飛ぶクルマについて】 ・中央突堤に新しく空飛ぶクルマのポートが整備されたが、今後どのように運用されるのか。	「大阪港バーティポート」という名称で、ポート自体は大阪メトロが運営している。今後の運用について、現時点でお伝えできる内容はありませんが、今後、案内されます大阪メトロのホームページ等をご覧いただきたい。	協働まちづくり推進課（エリア開発推進）
7	【喫煙対策について】 ・先日、築港で外国人が路上で喫煙しているのに対し、取り締まりしている人が厳しく注意されていたが、言葉がきつく、外国人側が怒ってなぐりかかりそうになっていた。あわや傷害事件になるところであった。外国人観光客は、路上喫煙が罰金になるとは知らない。広報をしっかりと行うか、喫煙所をもっと整備しないといけないのでは。取り締まりは警察か。 ・弁天町駅付近は、非常にきれいになって活性化されてきているが、市岡商業高校跡地の周囲側溝にはたばこのポイ捨てが非常に多い。	路上喫煙禁止は、大阪市の条例によるもので、取り締まりは市が委託して実施している。条例化に伴い、ターミナルなど人通りが多い箇所に、喫煙所を整備する計画があり、120カ所から始まって現在は200カ所以上整備している。港区では当初3カ所を整備する計画となっており、弁天町エリアではベイタワー内に、朝潮橋エリアでは八幡屋公園内に、大阪港エリアでは海遊館敷地内に整備している。その他、民間が整備している喫煙所を本市指定喫煙所として認定化することも進めている。	総務課（総合政策）